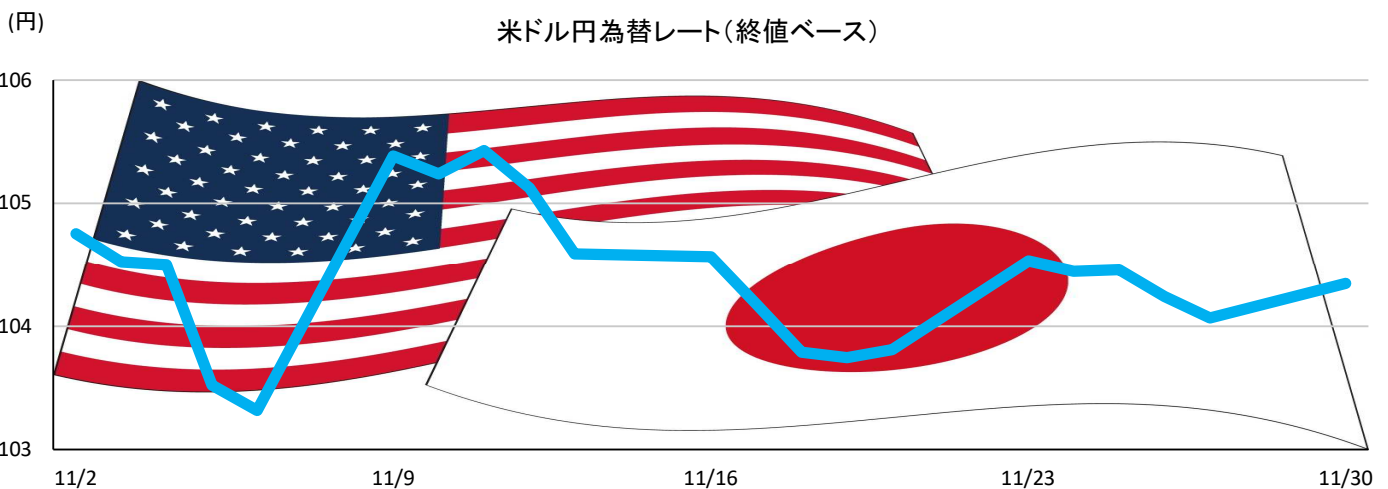


MARKET REVIEW

先月の振り返り：11月のドル円相場は103円前半～105円半ばで推移。月初の米大統領選挙が想定以上の激戦で結果判明に時間がかかる見通しだったことやFOMCを前に追加緩和思惑でのドル売りもあり、103円台前半まで円高が進行したが、バイデン氏の勝利宣言で米政治不安が後退したことや新型コロナウイルスに関するポジティブなニュースなどでリスク選好ムードが高まり、ドル円は105円台半ばまで急騰した。ただ欧米で新型コロナウイルス感染拡大が止まらないことで第2波第3波を懸念する声も聞かれ、ドル高は長続きしなかった。月中以降のドル円はNYダウ3万ドル突破に追随する動きも見られたが、株式市場の活況に比べるとさえない動きが続き、月末まで104円を中心とした持ち合い相場だった。



EXTRA VISION

今後の展開：米大統領選挙の不正を主張しているトランプ大統領は敗北宣言をしていないが、バイデン氏が次期大統領に就任することは決定的で覆ることは考えにくく、マーケットの関心は新型コロナウイルス感染拡大とワクチン開発。欧米では外出禁止令及び夜間外出禁止令が行われているものの、依然として感染拡大に歯止めがかかっていない中で、クリスマスや年末年始などを控え、新型コロナウイルス感染拡大によるリスク回避の動きに注意したい。また月中以降の主要国金融政策についても、各国の感染拡大状況からさらなる金融緩和の可能性が取りざたされている。年末にかけて取引参加者が少なくなる中で、突発的な動きにも対処できるようにしておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 17 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
12 / 17 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
12 / 18 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
12 / 22 (火)	22 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
1 / 8 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 13 (水)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
1 / 15 (金)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。